

地域社会における
祭礼の意味づけ
—放生津の曳山行事を事例に—

人文地理学研究室
4年 新村沙里惟

I はじめに①

問題の所在

全国的な少子高齢化による人口減少や、高度経済成長期以降の地方から都市への人口流出などにより、地域活動の担い手不足が深刻になりつつある。



伝統的な地域活動である祭礼の維持・継承も困難に直面している。

I はじめに②

先行研究

瀧野 (2013)

ボランティア参加者を受け入れる運営組織が制度化されることで祭礼の保存・継承につながることを示した

卯田・阿部 (2015)

伝統的な祭りが世俗的なイベント性を加えることで祭りを再編した仕組みを明らかにした

井口 (2019)

人口流出や少子高齢化に直面し1度廃止された祭りが、有志化、外部化、脱地縁化を通して再生したプロセスを明らかにした

I はじめに③

先行研究

樋口（2012, 2014）

祭礼を維持するにあたって町内外に結ばれる社会関係を「祭縁」として考察

喜多（2018）

現代の祭礼の維持においても、血縁や地縁といった「選択できない縁」の視点による分析の必要性を示した

I はじめに④

研究目的

伝統的な祭礼の内部構造と担い手の意識を明らかにし、現代の地域社会における祭礼の意味づけについて考察する

Ⅱ 調査概要①

研究方法

- ・ 関連資料・文献の読み込み，新湊放生津地域の歴史的変遷を整理

- ・ 「町」単位での調査

祭礼は「町」の競合で白熱化（渡辺1999）

→ 曳山13町のなかで最も規模が大きく，昔からの運営形態を維持しているといえる古新町を選定

聞き取り調査，過去に作成された資料の分析

- ・ 社会的・経済的・場所的側面（佐藤2016）と意識的側面（五十嵐2021）から運営基盤をみる

Ⅱ 調査概要②

調査対象地

富山県射水市新湊地区

放生津八幡宮秋季例大祭の曳山巡行区域

聞き取り調査対象

古新町曳山関係者

Ⅱ 調査概要③

放生津曳山祭り(放生津八幡宮秋季祭礼)

毎年9月30日から10月3日に行われる放生津八幡宮の秋季例大祭である。

10月1日に行われる神輿渡幸祭において、県内最大数である13基の曳山が新湊旧市街地を随行する。令和3年3月11日、「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」が国の重要無形民俗文化財に指定された。



図1 放生津曳山祭り
(2019年10月1日筆者撮影)

Ⅱ 調査概要④



図2(右上) 射水市全体図
図3(左) 曳山13町の位置
(資料より筆者作成)

Ⅱ 調査概要⑤

古新町曳山関係者

- A 古新町曳山委員会委員, 49歳
- B 古新町曳き子, 57歳
- C 古新町曳き子, 37歳, 移住者(東京→富山)
- D 古新町囃子方, 51歳
- E 古新町囃子方, 46歳
- F 古新町曳山委員会総代, 60歳

Ⅲ 調査結果①

1) 曳山委員会の役員—社会的側面

表1 過去10年の所属自治体別古新町曳山委員会役員数

| | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 東部委員 | 9 | 9 | 8 | 8 | 5 | 6 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 |
| 中部委員 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 | 10 | 11 | 11 |
| 西部委員 | 9 | 9 | 7 | 8 | 9 | 9 | 6 | 8 | 8 | 8 | 7 |
| 選任委員 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 6 | 7 | 7 | 7 |

(資料より作成)

Ⅲ 調査結果②

1) 曳山委員会の役員—社会的側面

表2 過去10年の所属自治体別古新町曳山委員会役員数

| | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|----------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|
| 委員長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 副委員長 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 総代 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 事務局長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 会計 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 総務 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 監査 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 相談役 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 |
| 曳山蔵建設委員 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 3 | - |
| 修繕責任者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3(兼任) | 3(兼任) | - | - | - |
| 調査責任者 | - | - | - | - | - | - | 4(兼任) | 4(兼任) | - | - | - |
| 警備・誘導指導者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| 警備責任者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 青年団責任者 | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 誘導責任者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 囃子方責任者 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 曳山友の会 | - | - | 4 | 5 | 5 | 5 | 9 | 9 | 8 | 8 | 6 |
| 曳山青年団 | - | - | - | - | 8 | 10 | 10 | 7 | 9 | 10 | 10 |

(資料より作成)

Ⅲ 調査結果③

2) 年間収支と篤志募金－経済的側面

表3 過去10年の古新町曳山委員会収支会計

| | 一般収入 | 一般支出 | 差引 | 特別収入 | 特別支出 | 差引 | 備考 |
|------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|------------------------|
| 2011 | 3,675,081 | 3,355,252 | 319,829 | 1,588,269 | 0 | 1,588,269 | |
| 2012 | 3,589,457 | 3,174,029 | 415,428 | 2,708,480 | 420,305 | 2,288,175 | |
| 2013 | 3,191,037 | 2,700,954 | 490,083 | 3,288,515 | 180,000 | 3,108,515 | |
| 2014 | 3,774,782 | 3,412,732 | 362,050 | 4,108,911 | 934,488 | 3,174,423 | |
| 2015 | 3,586,613 | 3,250,174 | 336,439 | 3,974,896 | 761,740 | 3,213,156 | 2015/11/30迄 |
| 2016 | 3,602,296 | 3,358,594 | 243,702 | 4,013,478 | 904,169 | 3,109,309 | |
| 2017 | 3,673,406 | 3,426,040 | 247,366 | 4,109,333 | 649,126 | 3,460,207 | |
| 2018 | 3,626,370 | 3,554,073 | 72,297 | 7,290,236 | 7,280,756 | 9,480 | 2018/11/30迄 |
| 2019 | 3,506,800 | 3,371,652 | 135,148 | 1,344,418 | 1,264,901 | 79,517 | 2018/12/01-2019/11/20迄 |
| 2020 | 2,238,153 | 2,083,999 | 154,154 | 1,709,518 | 500,000 | 1,209,518 | 2019/11/21-2020/10/31迄 |
| 2021 | 3,077,159 | 2,817,036 | 260,123 | 3,009,528 | 1,500,000 | 1,509,528 | |

(資料より作成)

Ⅲ 調査結果④

3) 公民館・曳山格納庫の新造と巡行路—場所的側面

・ 祭礼当日の朝,
もしくは祭礼直前
の土曜もしくは日
曜の半日で実施

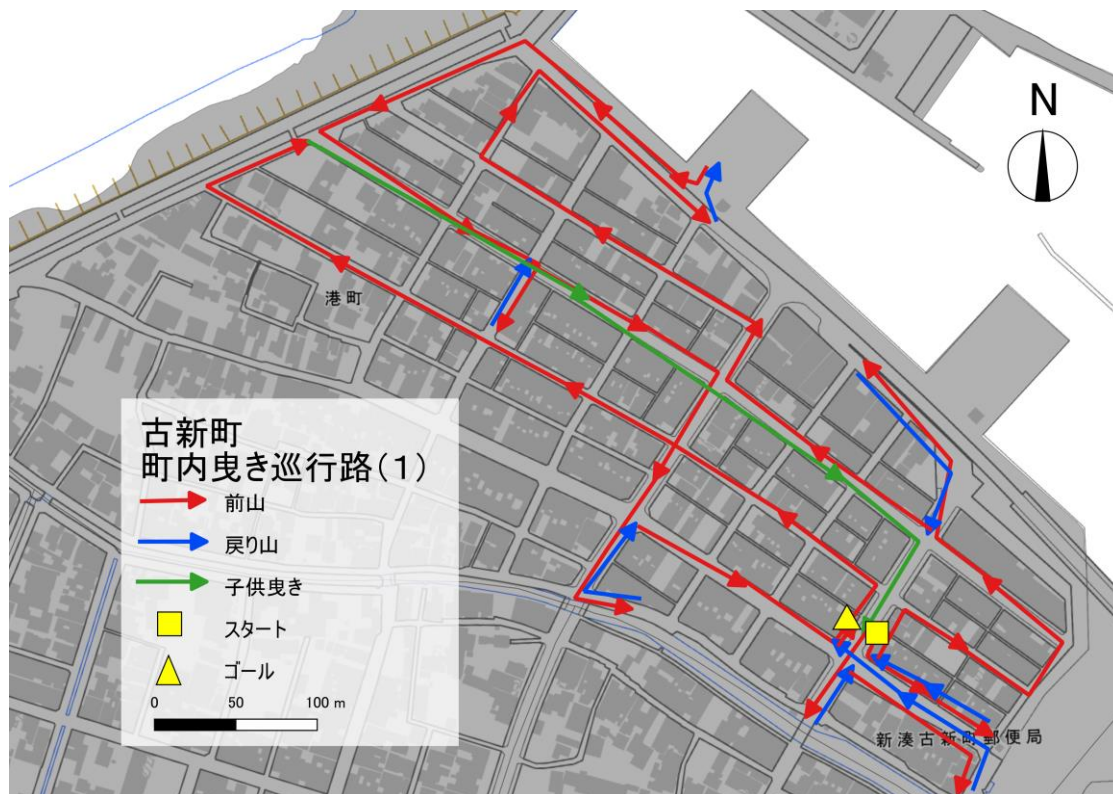


図4 古新町町内曳き巡行路 (2019年, 2018年, 2014年)

Ⅲ 調査結果⑤

4) 祭礼の意義と保存・継承への思い—意識的側面
聞き取り対象者全員の共通認識

- ・「自分の町が1番」「どの町の人も「自分の町が1番」だと考えている」
- ・曳山行事は神事であり、町の住民のためのもの

Ⅲ 調査結果⑥

4) 祭礼の意義と保存・継承への思い—意識的側面

曳山委員

- ・ 祭礼を担うのはあくまで住民
- ・ 伝統的な使命感

囃子方

- ・ 個人の意識や町とのつながりをより重視

曳き子

- ・ 心配していることはない

IV 考察

- ・放生津の曳山行事は、歴史的に町の拡大とともに新たな参加者を取り入れながら拡大してきた
- ・現在は人口減少とともに祭礼の運営基盤は変容しつつあるものの、伝統的な地縁によるところが大きい
- ・現在の担い手は、伝統としての形を残すこと以上に、祭礼の存在そのものを継続させることに祭礼の意味を見出している



祭礼の保存・継承には、担い手の「誰が何のために、誰に向けて行うのか」という意味づけが重要

V おわりに

- ・ 祭礼は地域の居住者や縁故者にとって地域社会のアイデンティティとして保存・継承されてきた



- ・ 祭礼が保存・継承されていくことは、地域社会の存続を考えるうえでも重要

- ・ 地縁による結び付きの強い伝統的な祭礼の保存・継承において、地域社会における祭礼の意味を考えながら、有志や外部からの縁をどのように組み込んでいくかが課題となる

VI 参考文献・資料

- 五十嵐友輔 2021. 祭礼・伝統行事継承に在り方—未来に残したい「祭」とは—, 富山国際大学現代社会学部現代社会学科環境デザイン専攻大谷ゼミ卒業論文.
- 井口 暁 2019. 過疎地域における祭りの終了と再生のメカニズム—三重県神川町の「桜祭り」から「桜覧会」への転換に注目して—, 京都社会学年報, 27:19-44.
- 射水市教育委員会 2020. 『放生津八幡宮祭 曳山行事・築山行事総合調査報告書』.
- 卯田卓也・阿部依子 2015. 過疎地域における祭礼の存続形態—佐久市望月地域の榊祭りを事例として—, 地域研究年報, 37:33-59.
- 喜多祐真 2018. 子供歌舞伎からみる都市祭礼の変容と地域社会—石川県小松市お旅祭りの事例—, 富山大学人文学部人文学科人文地理学研究室卒業論文.
- 佐藤弘隆 2016. 京都祇園祭の山鉾行事における運営基盤の再構築—現代都市における祭礼の継承—, 人文地理, 68(3):273-296.
- 瀧野利緒 2013. 地方都市における祭礼の継承—富山県魚津市たてもん祭りを事例として—, 富山大学人文学部人文学科人文地理学研究室卒業論文.
- 樋口博美 2012. 祇園祭の山鉾祭礼をめぐる祭縁としての社会関係—祭を支える人々—, 専修人間科学論集, 2(2):113-125.
- 樋口博美 2014. 伝統的都市の祭礼にみる共同性の維持と創造—山鉾祭礼の“祭縁”を事例として—, 社会関係資本研究論集, 5:129-149.

VI 参考文献・資料

古新町曳山委員会 2011. 平成23年度資料.

古新町曳山委員会 2012. 平成24年度資料.

古新町曳山委員会 2013. 平成25年度資料.

古新町曳山委員会 2014. 平成26年度資料.

古新町曳山委員会 2015. 平成27年度資料.

古新町曳山委員会 2016. 平成28年度資料.

古新町曳山委員会 2017. 平成29年度資料.

古新町曳山委員会 2018. 平成30年度資料.

古新町曳山委員会 2019. 令和元年度（平成31年度）資料.

古新町曳山委員会 2020. 令和2年度資料.

古新町曳山委員会 2021. 令和3年度資料.